



THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A. THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11
山梨YMCA青少年センター
〒400-0032 TEL 055-235-8543
FAX 055-235-8553

国際会長主題：ともに、光の中を歩もう
アジア太平洋地域会長主題：ワイズ運動を尊重しよう
東日本区理事主題：広げよう ワイズの仲間
あずさ部長主題：継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう
甲府21クラブ会長主題：実現可能な目標定め 山梨YMCAを支援しよう

Henry Grindheim (ノルウェー)
Tung Ming Hsiao (台湾)
栗本 次郎 (熱海)
大野 貞次 (東京西)
佐藤 重良

甲府21ワイズメンズクラブ
2018年5月会報
強調月間
BF JEF

今月の聖句

神のなされることは皆その時にかなって美しい。

伝道の書 3. 11 清藤城宏 選

会長挨拶

甲府21ワイズメンズクラブ会長 佐藤重良

甲府21ワイズメンズクラブのCS活動の新規事業「ベビーカーコンサート」がCSグループ各位の綿密な計画と会員各位のご協力をいただき、無事に終わることができました。ありがとうございました。ご来場いただきました約150名のお客様のアンケートを読みましたが「良かった」「また来てみたい」という声がたくさんあり、第1回目としては成功したのではと思っています。反省すべきところは反省し、より良いものに発展させていきたいと考えております。

また、4月14日は草津ワイズメンズクラブの30周年記念例会で甲府21ワイズメンズクラブとの合同例会でした。山梨YMCAの露木総主事他12名の参加でした。草津クラブ(クラブ員11名)では、愛と奉仕活動(CS活動)として視覚障がい者支援を続けているそうです。関西盲導犬協会の濱本会長からは「視覚障がい者に寄添う盲導犬たち」と題した記念講話をいただき、盲導犬の育て方から活動の状況を聞くことができました。チャリティーコンサートでも視覚障がい者の演奏を拝聴させていただきました。内容の充実した記念例会でした。



挨拶する佐藤会長

2018年4月3日＝山梨YMCA青少年センター

2018年5月例会プログラム

日時：2018年5月8日(火) 19:00～

会場：山梨YMCA青少年センター

司会：野々垣健五副会長

- ①開会点鐘 佐藤重良会長
- ②ワイズソング・ワイズの信条
- ③今月の聖句 清藤城宏メン
- ④会員一言 清藤城宏メン
- ⑤会長挨拶 佐藤重良会長
- ⑥ゲスト・ビジター紹介 佐藤重良会長
- ⑦ハッピーバースデー
- ⑧ワイズディナー
- ⑨ゲスト卓話
「甲府開府と武田信玄生誕五百年」
萩原三雄氏
- ⑩諸報告
- ⑪YMCAの歌
- ⑫閉会点鐘 佐藤重良会長

※スケジュールは、都合により一部変更になる可能性があります。

【卓話者 萩原三雄氏 プロフィール】



1947年甲府市生まれ。早稲田大学卒業。専攻は歴史考古学。現在、帝京大学大学院文学研究科教授(日本史・文化財学専攻)、帝京大学文化財研究所所長、山梨県立考古博物館館長を務める。主な著書に『中世の城と考古学』『戦国時代の考古学』『戦国武将武田信玄』『定本武田信玄』『日本の金銀山遺跡』などがある。

在籍者数	26名	項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション	BCコンサート募金	街頭募金ファンド	切手
第1例会出席者数	24名	目標値	250,000	50,000	50,000	50,000	50,000	5,000g
第2例会出席者数	15名	4月の計	14,707	—	73,225	20,000	—	1,060g
メイキャップ他行事参加	—	4月末までの合計	210,657	15,050	73,225	20,000	—	1,060g
出席率	92%	達成率	84.30%	30.10%	146.50%	40.00%	—	21.00%

2018年4月例会報告

甲府21ワイズメンズクラブ書記 寺田喜長



例会の様子

2018年4月3日＝山梨YMCA青少年センター

奈良田メンの司会にて定刻に開会点鐘、功刀メンの聖句朗読と一言、会長挨拶、ゲストの長田氏紹介、誕生者のお祝いとプログラムを進行、仕事の都合でなかなか出席できない稲垣メンが出席し誕生者としてお祝いできました。今月は8月に入会されました米長晴信メンが顔写真入りのキレイなレジュメを準備されての卓話をお聞きました。フジテレビ報道局に在籍されていた時の、報道関係のあまり知られていない特殊な情報、逸話やイラク戦争の現地取材の生々しい状況が話されました。

それらの良い情報を得るためには人と人のつながりがいかに大事であるか身を持って経験、さらに政治家の時の人と人のつながりは重要な財産となっているそうです。

情報を得ると同時に発信する心得も必要ですと、3分間キッカリのスピーチを披露、それにはどんな準備や訓練が必要かを教えてくださいました。どこかで話をする時はレジュメを用意し、話し手と聞き手を一体化させ、冒頭ではしっかり自己紹介をし、スピーチの目次を伝えて、時間を守って話すことが大切だそうです。限られた時間のスピーチは本ネタの他に予備ネタを準備しておくことと慌てずに対応できるとのことです。いつでも要望があれば講演を受けてくださるそうです。

日時：2018年4月3日(火) 19:00～

会場：山梨YMCA青少年センター

出席者：[メン]相川 稲垣 荻野 小澤(公) 小澤(智)

鎌田 功刀 輿水 後藤 駒田 佐藤 清藤 茅野

寺田 奈良田 野々垣 廣瀬 古屋 松村(横) 松村(蒙)

葉袋 山県 山本 米長

[ゲスト] 長田陽一氏 露木総主事

新入会員卓話を終えて

甲府21ワイズメンズクラブ 米長晴信

この度は、卓話の貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。「情報発信の技術・心得」と題して、私の前歴のフジテレビ報道局時代の経験を踏まえて情報の取り方、そして発信する際の心得をお話しさせていただきました。

百聞は一見にしかず、まずは私の過去の(瘦せていた頃の!)レポートをいくつかご覧いただきました。どのようにあの映像を撮影することができたのか、準備過程の裏話をお話することで、普段何気なく見ているニュースを少し違った角度から楽しめるようになったのではないかと思います。

イラク取材に備えて実際に現地に持って行ったガスマスクのブツ見せをしました。生兵法は怪我の元…毒ガスのに関する知識、ガスマスクの正しい使い方を学習していなければいざという時に役に立たないばかりかかかって命取りになるということもお分かりいただけたのではないのでしょうか。

情報を発信する際は、常に、聞き手が何を求めているのかを意識していなければなりません。また、聞き手の興味を引くための「つかみ」を提供することも重要です。今回の卓話においては、VTR、ガスマスク、3分間キッチンタイマースピーチなどがそれです。今からこれに関連してどのようなことを話すのだろう、という興味をそそることができたら成功です。

話し手と聞き手が一体になるということがいかに大切か、ということも「4文字並べ替えクイズ」で体感をしていただきました。今からこのような内容の話が来る、という受け手の準備があるかないかで理解度が全く違うのです。そのための重要なツールがレジュメであり、レジュメ通りに話を進めなければ逆効果です。話し手が少々話を脱線しても(生きた講話ではこれも多少は必要)、元の軌道に戻るための譜面台としても機能を発揮します。今後、皆様が情報発信する上で少しでも参考になれば幸いです。



フジテレビ時代のニュース映像を解説する米長メン



好評だった4文字並べ替えクイズ

軽トラ

甲府21ワイズメンズクラブ 稲垣浩司



30年以上前に、初めて買った車が富士重工(スバル)の中古車(水冷4サイクル2気筒、同時点火方式の490CC)でした。各社はすでに550CCへ移行していましたが、スバルは360CCをボアアップした490CCであり、550CCへの過渡期の車でした。

リアエンジン、リアドライブとポルシェと同じ方式が自慢でした。両親を乗せて4人でドライブにも行きました。ガソリンスタンドで、「前を開けて下さい」と言われ、開けた空っぽの前トランクを見た店員さんの驚いた表情がおもしろかったです。

車検でお店に行けば、古い車だからなのでしょう、営業さんがしつこく新車を勧めるのですが、工場のエンジニアさんは「まだまだ大丈夫ですよ」と言ってくれました。

オーバーヒートしやすいので、いつも水タンクを積んでいました。夏場の渋滞などは避けるようにしていました。しかし、日光のいろは坂では、案の定オーバーヒートして、ラジエターキャップから盛大に蒸気がでていました。こうなったときは道路脇に寄せて、しばらく休ませて、冷ましてから、水を補給することになります。

そのほかにはトラブルもない車でした。この車に4年ぐらい乗りました。その後、友人に差し上げました。

一昨年かから畑を手伝うようになり、道具を運ぶために軽トラックがほしくなりました。いろいろ捜しているときに、スバルの550CCを見つけました。1988年式、30年前の車です。エンジンは水冷4サイクル2気筒、同時点火です。以前乗っていたEK22の後継であるEK23でした。リアエンジン、リアドライブ。あの独特のエンジンの音が思い出されます。あのころの甘酸っぱいようなほろ苦いような思い出も甦ってきました。古い車ですが、まだまだしっかりしているようでした。走行

距離は73,000kmです。ずいぶん迷ったのですが昨年の4月に購入しました。

しかし、それからが問題でした。なんでもかんでも部品が在庫切れなのです。ブレーキなどの重要部品はあるらしいのですが、ラジエターキャップすらありません。たまたまインターネットオークションで見つかり、代替え品が購入できたので済みましたが、その都度ヒヤヒヤです。一方、電気配線はわかりやすいのでやり方を見ながら、ヒューズボックスから電源を取ってカーステレオ、スピーカー、ドライブレコーダー、バックブザーなどを自分で取り付けました。

この軽トラはYMCAバザーのびっくり市の品物を運んだり、境川の白菜や大根を運んだりYMCAで大活躍でした。

私はとても大きなおもちゃを手に入れました(笑)。

ベビーカーコンサートを終えて

甲府21ワイズメンズクラブ副会長 萩野 清



ベビーカーコンサートの様子
2018年4月7日=山梨県立図書館

甲府21ワイズメンズクラブは、クラブの主要イベントの1つである『第1回ベビーカーコンサート in 甲府』を、4月7日に山梨県立図書館2階多目的ホールで開催いたしました。

佐藤会長から、ご来場者への挨拶と「笑っても泣いて、騒いでもご自由に構わないです」というベビーカーコンサートならではの号令のもと、前原加奈様(ソプラノ)の進行によりコンサートが進められました。

前原様のソプラノ、ピアノ担当の立川あかね様、ヴァイオリン担当の牛山舞様そしてパーカッション担当の宮下美穂様らのプロの歌と演奏に、幼児達や親御さんのノリノリの姿が見受けられました。20数分くらいで泣き叫ぶ姿が見受けられるようになり、その後、寄贈をいただきました「マラカス」を幼児や親御さん達へお配りし、演奏者と観客が一体となったワイワイ・ガヤガヤに、クラブメンバーは「これぞベビーカーコンサート」だと気分が高揚していたと拝察いたしました。YMCAのきら

きら教室の方々には、ベビーカー預りのクロークのお手伝いに感謝と共に、最後までコンサートを真剣に拝聴している姿に感動を覚えました。結びに、クラブ初の「ベビーカーコンサート」に対し、当クラブのメンとメネットが一丸となり、早朝から演奏会場の飾り付けや受付ルーム等の準備に奔走されたこと、また、開演中の進行に伴う、要所での気配りに感謝申し上げます。



YMCA便り 新年度を迎えて

山梨YMCA総主事 露木淳司

新年度が始まりました。YMCAのそれぞれの事業にも新入生が加わり、今まさに新しい風が吹き始めています。特に70周年記念事業として立ち上げた発達障がい児支援のための「放課後等児童デイサービス・きらきら教室」はようやく軌道に乗り始め、おかげ様で競争の激しいこの事業を短期間で軌道に乗せることができました。

現在、毎日定員に近い13～14名の児童が利用しています。それには一人ひとりのケースに合わせた療育プログラムが可能な人材を確保できたこと、学習室、プレイルーム、体育館など施設環境に恵まれたこと、プライムタイムという健常児の学童保育と交流できること、習い事や野外活動に参加できることなど他の競合事業所にはない特典を備えることができたことが要因としてあげられます。今後、この子供たちが成長し大人になっていくのに合わせて事業範囲を拡大し、また甲府市外のエリアに住む子供たちの保護者の要望にもお応えして、活動の拠点を増やしていけたらと願っています。そのための一番の課題は人材の確保です。今後とも関係各位の皆様からご指導ご鞭撻を仰ぎ、さらなる充実した事業運営を目指します。

今年はもう一つロボット教室という新規事業に挑戦しています。毎回異なるレゴブロックのような組み立て式のロボットを作り上げ、その仕組みから創造力や科学の知識を身に付けていきます。特に男の子に人気のプログラムです。今じわじわと参加者の輪が広がっております。

いよいよ会館建設を2年後に控え、将来計画検討委員会の動きも最後の詰めに入ってきました。事業部会では英語学校と国際事業の再建と保育所の立ち上げについて、総務財務部会では管理システムの再構築と様々な補助金、助成金の獲得方法について、そして建築部会では地域に根ざし世界を見つめるYMCAに相応しい、未来永劫存続する施設の設計が課題となっています。是非皆さんも積極的にこの協議に加わっていただき、一緒に新しいYMCAをつくろうではありませんか。

5月には定期総会を開催いたします。新たに75周年記念新会館建設募金活動のスタートについて皆様にお計らいします。ワイズメンの皆様にはぜひともご出席いただき、お支えくださいますようお願い申し上げます。

■今後の予定

- 5月12日(土) あずさ部評議会(ホスト:富士五湖クラブ)
- 5月15日(火) 第2例会(山梨YMCA)
- 6月2日(土)～3日(日) 東日本区大会(静岡県)
- 6月4日(月)～5日(火) 国際BF代表ロビンソン夫妻受入対応
- 6月9日(土) チャリティーラン(小瀬スポーツ公園)

【5月の誕生者】

【メネット】奈良田智恵美(5月31日)